

2022年12月期 決算説明資料

2023年2月22日
サンデン株式会社

経営財務管理本部長 **高橋 純也**

目次

1. 2022年 12月期 決算実績

2. 2023年 12月期 業績予想

目次

2022年 12月期 決算実績

1. 決算のポイント
2. 連結決算要約
3. 自動車機器セグメント地域別売上高
4. 営業利益増減分析（前年差異）
5. 連結貸借対照表（前年差異）

1. 決算のポイント

1

2021年度は4月から12月の9ヶ月決算、また、今期は12ヶ月決算となりましたので、単純な前年同期比較はできません。目安として、前年を12ヶ月で置き直し比較すると、売上高 1,757億円は131億円増収、営業利益 △57億円は155億円の増益、当期純利益 △16億円は 109億円増益となりました。継続的に赤字縮小はできているものの、体質としてはまだ改善途上です。

2

売上高は、ウクライナ影響や半導体不足により欧州顧客を中心に減産影響を受けましたが、中国、アジア、アメリカと各地域が市場回復傾向にあり、全体としては、前年比、予想比とも増収となりました。営業利益は、原価低減をはじめ、顧客交渉による原材料・エネルギー高騰影響の一部を価格反映、また、前年の構造改革による減価償却費減の効果などにより、体質改革は進んでおりますが、原材料費高騰等影響や将来商権に向けた開発費の増加により、依然として赤字となっています。

3

本決算期の事業外の処理として、事業再生計画の進展に伴う国内や欧州での固定資産の減損損失や、一方で構造改革引当金の戻入等を行っております。拠点再編や人員最適化の現状に照らし、引当金の戻し入れを実施。また、連結子会社において、滞留していた中東向け債権に対し、回収努力を続けてきた結果、債権の一部が回収されたため、連結財務諸表において、24 億円の貸倒引当金戻入額を計上しております。

2. 連結決算要約

[単位：億円]

項目	2021年度 2021年1月～12月 実績	2022年度 2022年1月～12月 実績	対前年同期		2022年度 2022年1月～12月 業績予想	対予想		
			差異	増減率		差異	増減率	
売上高	1,626	1,757	131	8.0%	1,610	147	9.1%	
営業利益	△212	△57	155	73.0%	△50	△7	△14.6%	
経常利益	△190	△41	149	78.2%	△35	△6	△18.3%	
親会社株式に帰属する当期純利益	△125	△16	109	87.1%	△37	21	56.4%	
為替	US\$	110円	131円	22円		110円	21円	
	EUR	130円	138円	8円		130円	8円	

※為替：市場平均レート

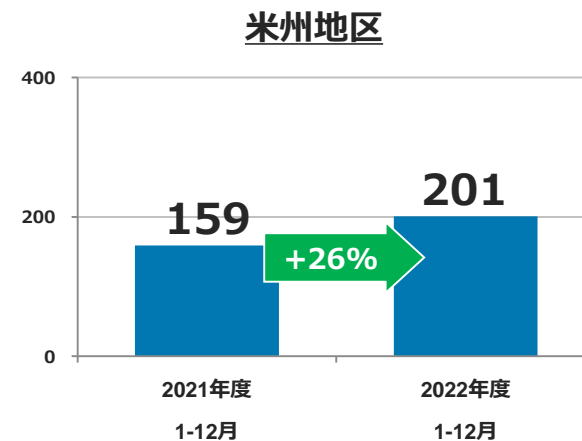
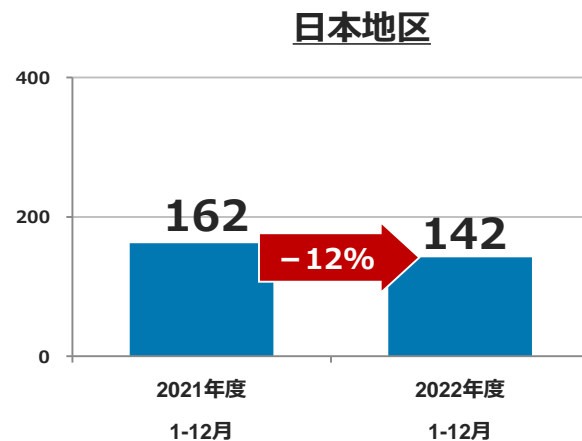
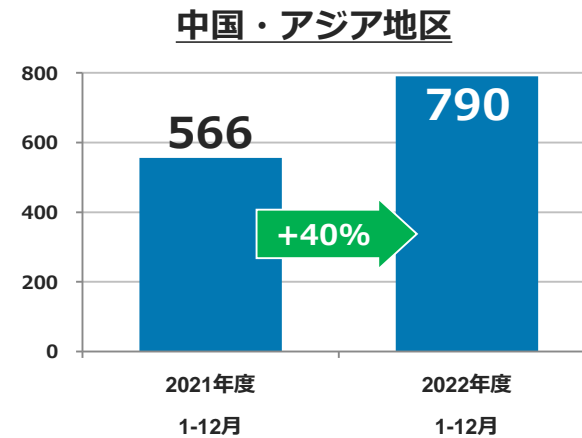
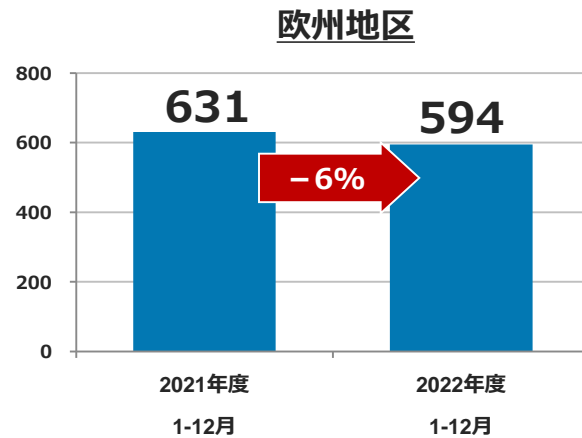
3. 自動車機器セグメント 地域別売上高

売上高 1,727億円 +209億円（前年比+10%）

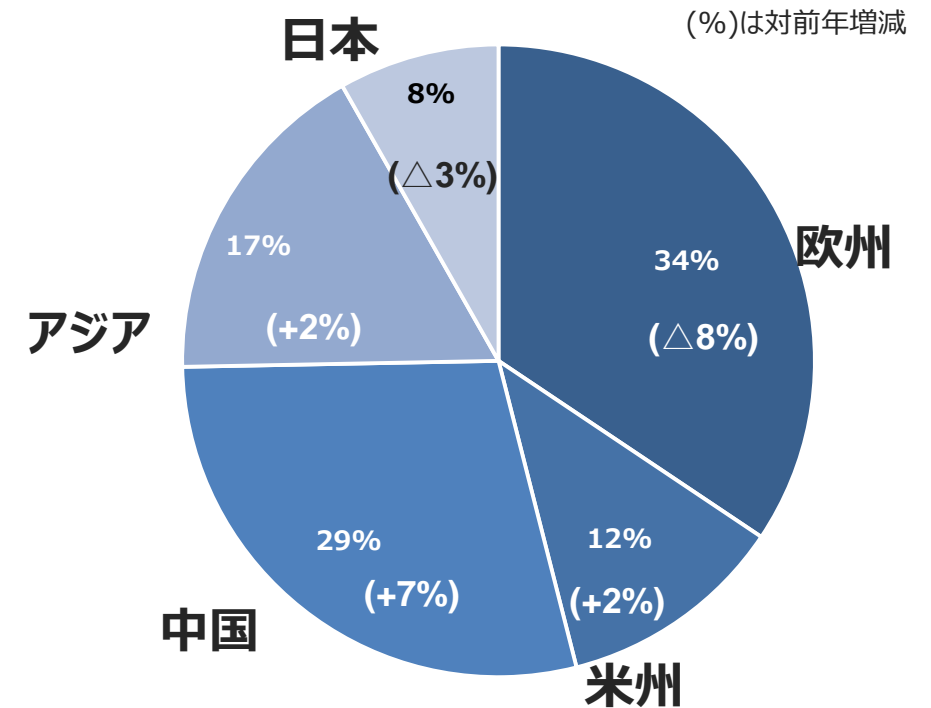
（内、為替影響+134）

■地域別売上高

[単位：億円]



■構成

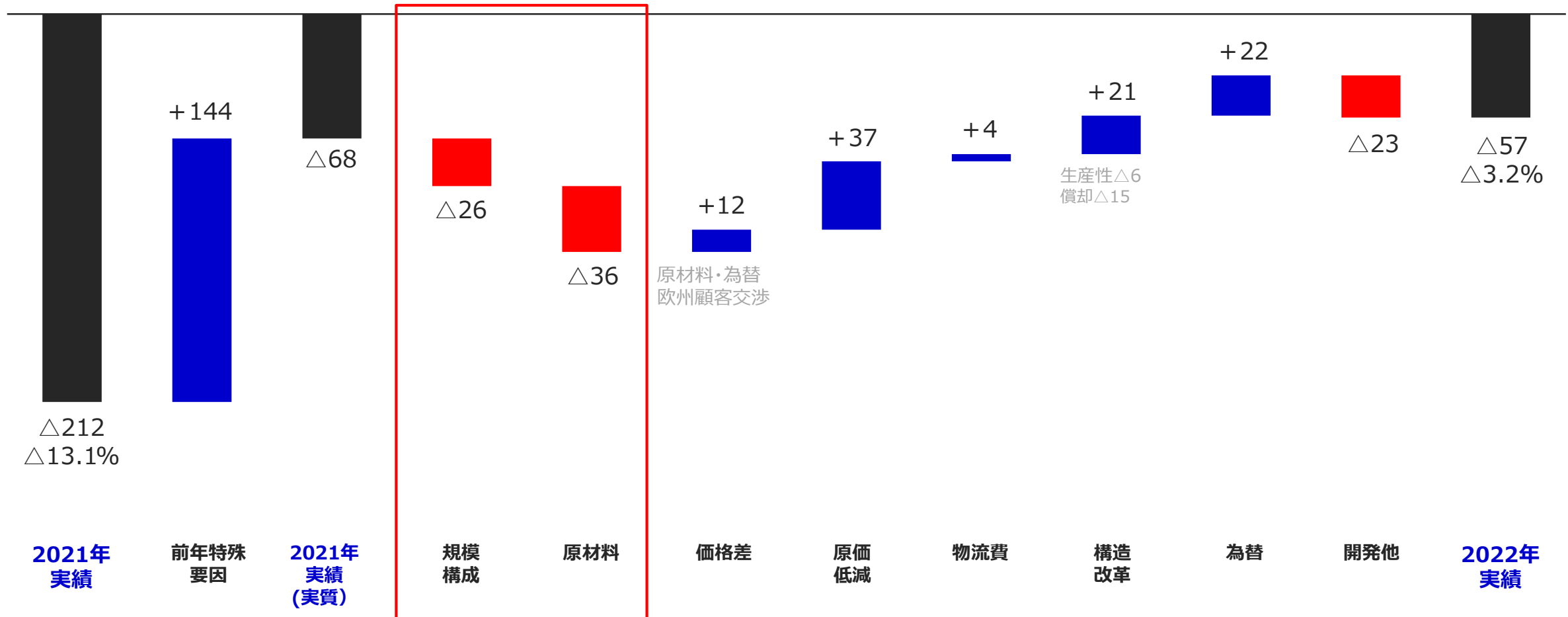


4. 営業利益増減分析（前年差異）

	前年	実績	差異
売上高	1,626	1,757	+131
営業利益	△212	△57	+155

- ✓ 半導体不足による顧客の生産減・原材料高騰等の外部環境変化が継続しているが、その影響は減少傾向
- ✓ 原材料高騰等の影響を粘り強く交渉し、価格ダウンをカバー
- ✓ 車両電動化に合わせた成長開発投資増加

単位：億円



目次

2023年12月期 業績予想

1. 連結業績予想要約
2. 自動車機器セグメント地域別売上高
3. 営業利益増減分析

1. 連結業績予想要約

[単位：億円]

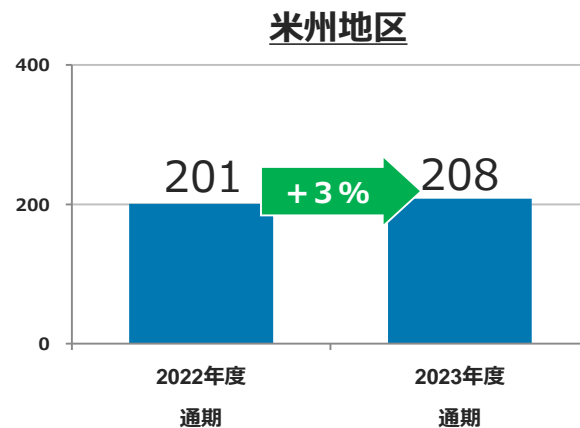
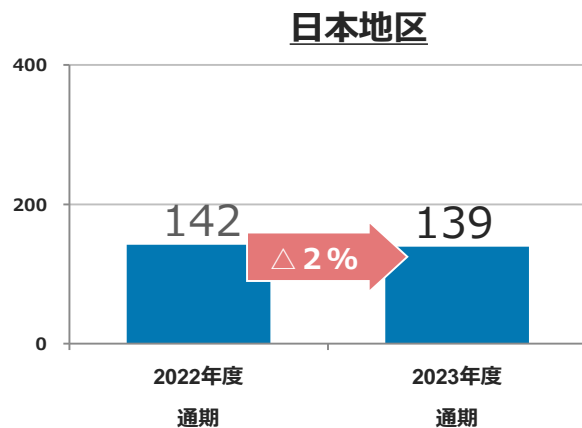
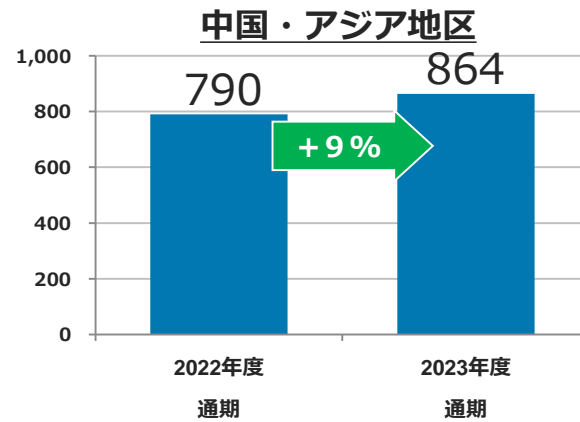
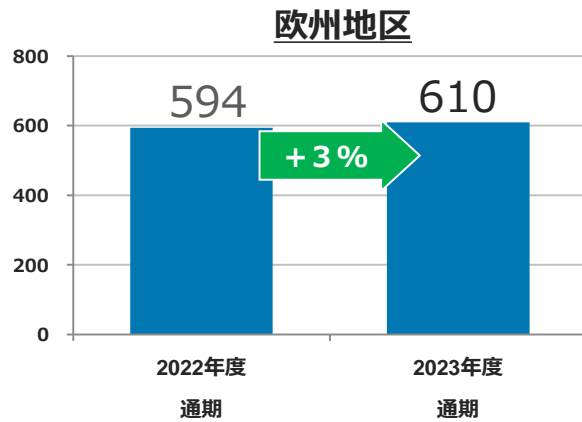
	2022年度 2022年1月～12月 実績	2023年度 2023年1月～12月 業績予想	対前年	
			差異	増減率
売上高	1,757	1,830	73	4.2%
営業利益	△57	△57	0	0.0%
経常利益	△41	△37	4	10.6%
親会社株式に帰属する 当期純利益	△16	△16	0	0.0%
為替	US\$	131円	130円	△1円
	EUR	138円	139円	1円

※為替：前年 市場平均レート
予想 弊社想定レート

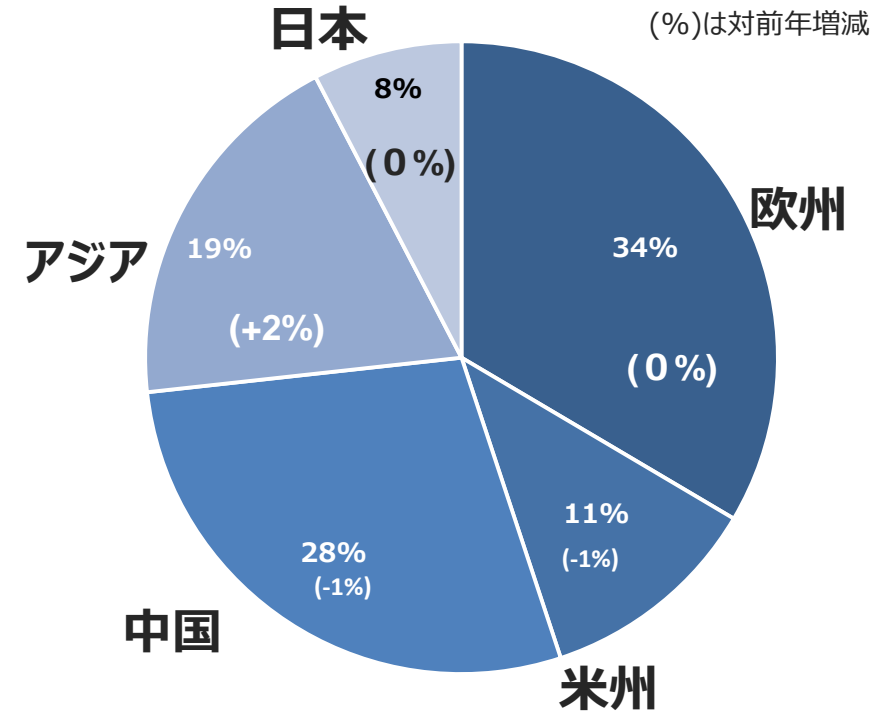
2. 自動車機器セグメント 地域別売上高

売上高 1,821億円 +94億円 (前年比+5%)

■ **地域別売上高** [単位：億円]



■ **構成**



3. 営業利益増減分析（前年差異）

単位：億円

	前年	予想	差異
売上高	1,757	1,830	+73
営業利益	-57	-57	±0

- ✓ 原材料高騰は落ち着いてきており、更なる影響は想定していない
- ✓ 規模増加、原価低減推進で前年比での体質改善
- ✓ 商権獲得に向けた競争力強化の成長投資増加により前年同期水準と見込む

